55 畜産クラスター等による生産基盤の維持・強化

令和7年度補正予算額(所要額)59,100百万円

く対策のポイント>

畜産の**収益性、持続性、社会的価値**を高めるために必要な**施設整備や機械導入等を支援**します。また、高齢の繁殖雌牛から**若い繁殖雌牛への更新**や、 酪農・肉用牛経営の省力化に資するICT関連機械の導入を支援します。

く事業目標>

- 牛肉の牛産量の増加(35万t「令和5年度]→36万t「令和12年度まで」)
- 飼料自給率の向上(27%「令和5年度]→28%「令和12年度まで])

く事業の内容>

1. 畜産クラスター事業

(所要額) 53,438百万円

【収益性向上タイプ】

畜産クラスター計画に基づく収益力強化等に必要な①施設整備や②機械導入の ほか、③効果の実証に必要な調査・分析を支援します。

【持続性向上タイプ】

畜産クラスター計画に基づく畜産・酪農経営の持続性や社会的価値を高める取組 に必要な補改修を含む①施設整備や②機械導入を支援します。

2. 優良繁殖雌牛更新加速化事業

(所要額)3,762百万円

増体や肉質に優れた肉用子牛の牛産を推進するため、高齢の繁殖雌牛から若い 繁殖雌牛への更新を支援します。

3. ICT化等機械装置等導入事業

定額

(所要額) 1,900百万円

畜産

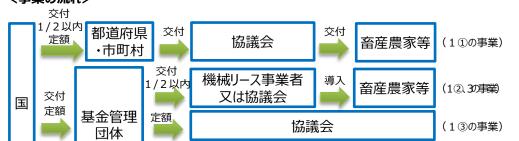
農家

(2の事業)

定額

畜産経営の省力化を図るため、ICT関連機械を導入する取組を支援します。

<事業の流れ>



定額

民間団体

農業者

団体等

く事業イメージ>

1 畜産クラスター事業の内容

筡

収益性向上タイプ

- ▶ 地域の関係者でクラスター協議会を 構成し、収益性の向上を目指すクラ スター計画を策定
 - * 1頭当たり販売額の増加、牛産コスト の低減、所得の増加といった成果目標 を設定
- 計画に基づく施設整備や機械導入を 支援

(主な変更内容)

- 酪農の成牛舎及び搾乳牛舎の整 備を支援。国産飼料基盤(北海道 40~7. (頭、都府県10~7.) を要件
- 酪農機械導入の増頭制限を廃止

※酪農に係る要件は持続性向上タイプにも適用

持続性向上タイプ

~収益性に直ちに結びつかない取組も支援~

- 畜産の持続性や社会的価値の向上* を目指すクラスター計画を策定
 - 国産飼料の生産・利用、雇用の創出、新 規就農、アニマルウェルフェア、家畜衛生、 鳥獣害防止といった成果目標を設定
- ▶ 計画に基づく施設整備や機械導入を 支援
- > 補改修や中古機械の導入も推進
- ▶ 収益性向 トタイプの補助対象施設・ 機械に加え、目標の実現に必要な施 設・機械も支援

(車両消毒ゲートや野生動物侵入防止柵・ 壁及び防除機械、ストレス軽減装置など)

2. 優良繁殖雌牛更新加速化事業の 3.ICT化等機械装置等導入事業の支援内容 奨励金交付単価

優良な繁殖雌牛 遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛15万円/頭

省力化のための機械・装置の導入を支援。

10万円/頭 スマート農業技術活用促進法に基づく計画認定を 受けた場合、一体的な施設の補改修も支援。

[お問い合わせ先] (1の事業)

畜産局企画課 (03-3501-1083)

(2、3の事業) 畜産振興課 (03-6744-2587)